

代替サービスの提供に関する取扱い

1. 報酬について

事業所でサービス提供した場合と同区分の単価を請求してください。

なお加算の取扱いは、臨時休業前に算定できていたものに関しては、算定可能です。

○算定できる加算の例

- ・ 児童指導員等配置加算
- ・ 児童指導員等加配加算
- ・ 看護職員加配加算
- ・ 福祉専門職員等配置加算

○算定できない加算の例

- ・ 欠席時対応加算
- ・ 送迎加算

※代替サービス提供に伴う延長支援加算は、一部の児童は8時間以上の営業時間で支援を行い、一部の児童は営業時間外に代替サービスを提供した場合、算定可能です。

2. 請求方法

通常の国保連請求の中に計上して請求していただきますが、代替サービス提供に伴い増額となる利用者負担に係る経費に対しては、補助の対象となることが決定したため、通常請求から切り分けて計算していただく予定であることをご留意ください。

3. 実績の記録方法について

代替サービスの支援内容の記録は、

- ・ 自宅で問題が生じていないかの確認
- ・ 児童の健康管理
- ・ 普段の通所ではできない、保護者や児童との個別のやりとりの実施
- ・ 今後の状況が落ち着いた後、スムーズに通所を再開できるようなサポート

以上のような内容のサービスを提供した経緯を記録してください。

また、毎月提供していただいている実績の備考欄に「代替サービス」と記載する、あるいは当該サービス提供日に支援を行ったことが把握できるような内容を記入してください。

4. 支給決定について

代替サービスの増のみを目的とした支給量の増は原則行いません。

また、代替サービスを提供するのは、原則通常サービスを提供する日に限ります。